

感動の場

『旅の BALLADE』

1970 年 小川原 脩 画

赤いしま模様のストローハットをかぶり、仰向けになって眠る人。そのすぐ頭の近くを、どこか幻想的な白い馬が歩いていきます。青い画面の印象も相まって、旅先の開放感の中、夏の日差しを心ゆくまで受ける時間を満喫しているのかと、想像が膨らみます。

小川原脩はこの作品について、当時の新聞に「いつどこへ行っても旅行というもの的大量に、しかも気ぜわしくはらんしている当世である。…しかし出来るだけ『旅』を、と思う心がひそんでいる。」とつぶっています。1970（昭和 45）年の大阪万博を契機とした「旅行ブーム」、大量の人々が慌ただしく移動する「旅行」の時代にあって、「旅」そのものが静かに遠ざかっていく。そんな時代の空気を背景に、心の奥底に残る“旅への憧れ”を、まるで夢の断片のように描いたのかもしれません。

また、寝そべる姿はまさにルネサンスの画家マンテーニャによる《死せるキリスト》を思わせるもの。足元から身体を見下ろす視点や、全体に漂う静けさも共通しています。旅への思いは今なお心にありながら、それを手放しつつある自身の姿をも象徴しているように見えてきます。

文：沼田 絵美（小川原脩記念美術館 副館長）



エンバク（燕麦）

写真は「エンバク」というイネ科の植物です。特徴としては麦に似ていますが、エンバクの方が実の付き方の間隔が広がっています。町内の畑では、連作障害を防ぐことや農地の地力を高めるため、緑肥としてエンバクを植え付けて、成熟する前に畑の土に混ぜこみます。

倶知安でのエンバクの栽培は明治時代から始まり、最初は自宅で飼われている馬の餌としての栽培されていました。1907（明治 40）年頃になると、陸軍の軍馬の餌としての需要が高まり全国で栽培が増え、1923（大正 12）年には町内でも、2,452 ㎡の大きさの畑で栽培されていました。

エンバクは馬の餌以外に、昔は種子用のジャガイモを畑で越冬保存するための敷きわらなどに利用されていました。また、エンバクの実 はオートミールと呼ばれ、加工されたものがヨーロッパを中心とした世界各地で、かゆや玄米、麦、ドライフルーツと混ぜてグラノーラとして食べられています。

夏の日、エンバクを探しに町内にある畑に行ってみてはいかがでしょうか。

文：今井 真司（倶知安風土館 学芸補助員）

ふる探訪

さと

508 回



▲エンバク（燕麦）



▲エンバク（燕麦）の穂先

展覧会のお知らせ

■第 1 展示室

小川原脩展「私の中の原風景」

会期：開催中～ 8 月 24 日(日)

第 67 回麓彩会展

1958 年、小川原脩をはじめ、8 人の発起人により創設された「麓彩会」。町にゆかりのある作家たちの多彩な美術を紹介します。

会期：8 月 30 日(土)～ 12 月 7 日(日)

■第 2 展示室

しりべしミュージアムロード共同展「絵描きたちの昭和」

会期：開催中～ 9 月 23 日（火・祝）

アート・イベントのお知らせ

■土曜サロン

おとなの手しごと（33）「鳥絵作家の武井ゆみこさんと一緒に『ぬりえ』を楽しもう！」

「とりっちー」をぬりえですてきに变身させましょう。

日時：8 月 9 日(土) 10 時～ 12 時

会場：美術館前庭（無料）※雨天時はロビー、予約不要

麓彩会展オープニングセレモニー＆アーティストトーク

第 67 回麓彩会展の出品作家の皆さんに作品について伺います。

日時：8 月 30 日(土) 10 時～ 11 時

会場：第 1 展示室（無料）※予約不要

倶知安風土館のお知らせ

■寺子屋ミュージアム

「夏の化石発掘体験！」

「ノジュール」からハンマーなどで、化石を掘り出します。

日時：8 月 10 日(日) ①午前の部（10 時～ 12 時）

②午後の部（13 時 30 分～ 15 時 30 分）

場所：倶知安風土館 定員：10 名※要予約

講師：古野竹志さん（千歳化石会会長） 参加費：無料

予約受付：8 月 9 日(土)までに電話申込（☎ 22 － 6631）

「行こう！知ろう！ニセコ連峰①」

イワオヌプリの山中にある硫黄鉱山跡を目指して散策します。

日時：8 月 16 日(土) 7 時 30 分～ 14 時 30 分

場所：倶知安風土館駐車場 定員：10 名※要予約

講師：古市竜太さん（マウンテンガイド・コヨーテ主宰）

参加費：250 円（保険料）

予約受付：8 月 8 日(金)までに電話申込（☎ 22 － 6631）

★「第 63 回くっちゃんじゃが祭りうちわコンクール作品展」・「じゃが祭りポスター原画展」

子どもたちの描いたうちわデザイン画の入選以上の作品と倶知安中学校美術部が制作したじゃが祭りポスターの原画を小川原脩記念美術館で展示します。

展示期間：8 月 9 日(土)～ 24 日(日) 会場：小川原脩記念美術館ロビー（無料）

ミュージアム 通信

小川原脩記念美術館 ☎ 21-4141

観覧料：一般 500 円 [400 円]

高校生 300 円 [200 円]

小中学生 100 円 [50 円]

倶知安風土館 ☎ 22-6631

観覧料：一般 200 円 [100 円]

高校生以下、美術館観覧者無料

※年間パスポート 500 円 (発行日より 1 年有効)

開館時間は 9 時～ 17 時 (最終入館 16 時 30 分)

※ [] 内は 10 名以上の団体料金

8 月の休館日 毎週火曜日、風土館のみ 4 日

(金)～ 8 日(金)、展示替えのため

美術館のみ 25 日(月)～ 29 日(金)

30 日(土)は展覧会初日のため美術館観覧無料、

31 日(日)までは夏休み期間のため美術館小中

高生観覧無料

お気軽にお立ち寄りください

8 月に入り暑さが厳しくなって、特に熱中症への注意が必要となる時期を迎えます。熱中症を予防するためには、水分補給などに加え、涼しい場所で休憩することも大切です。

町では、暑いときに一時的に休める場所として、公共施設や商業施設などを「涼み処」に指定しています。公共施設では、「役場 3 階展望テラス」のほかに「小川原脩記念美術館ロビー」、「倶知安風土館ロビー」が指定されていますので、暑さをしのぐ場所としてお気軽にご利用ください。

また、両館ともロビーは無料でご利用できますので、お散歩途中の休憩場所としてお立ち寄りいただくのも良いかと思います。館内は原則飲食禁止となっていますので、水分補給をされる際にはスタッフにお声掛けください。

館長 高橋 淳之